本会議の質疑から

本定例会では、条例・その他、予算について各会派の代表質疑を行いました。代表質疑及び個人質疑は一括して各会派の持ち時間内で行い、大会派順に発言をします。持ち時間は各会派の人数等によって決まり、各会派の持ち時間及び発言順序は左記のとおりです。

自由民主党	90分
まちだ市民クラブ	75分
公明党	60分
日本共産党	55分
保守連合	50分

自由民主党
三遊亭らん丈

問 「町田市人口ビジョン」について、将来の目標人口を達成する上で取り組むべきことを質す。

市長 町田の特徴、特性、優位性を最大限に高めるための施策をスピード感を持って実行しなければなりません。

問 次期5カ年計画を策定する上で課題認識、基本的な考え方について質す。

市長 新たな投資の必要性、有効性を十分見きわめた上で、必要な投資はしっかり実行し、未来への投資と財政健全化を両立させた計画としなければならぬと考えております。

問 南町田駅周辺の再整備プロジェクトにおける総事業費と、その投資効果について質す。

市長 全体としての事業費は500億円から600億円規模になると想定されており、町田市の名前を大きく打ち出していくシティーブランドディングの効果として十分に発揮し得る事業として取り組んでまいります。

問 地域スポーツを振興する上での仕組みづくり、地域スポーツの場の整備について質す。

市長 子どもの体力向上や高齢者の健康づくりの場として、学校を拠点とした取り組みをさらに推進していきたい。今後、財政の健全性、継続性を維持する上で必要な方策について質す。

市長 歳出構造改革、社会保障給付費の伸びの抑制、将来の税収増につながる環境づくりを基本的な方針として全庁挙げて取り組んでいきたい。

まちだ市民クラブ
佐藤和彦

問 施政方針において、将来の税収増につながる取り組みの必要性に触れているが、具体策が見えてこない。今後、将来への税収増を具体的にどのように見込み、進めて行くのか。

市長 若い世代にとつての魅力づくり、地域資源を生かした町田ならではの地域活性化に力点を置き、施策を推進することで将来の税収増につなげていくことが必要であるというふうと考えております。

問 仮称国際工芸美術館について、今回2年間の実施時期の延期が記載されているが、具体的な理由と経緯は。

市長 今後の厳しい財政状況を踏まえた中で、18年度前後に一般財源投資が重なる2つの事業のどちらかを選択しなければならず、子どもたちが心豊かに学ぶ環境づくりを優先し、町田第一中学校の改築を選択いたしました。

問 町田市立陸上競技場の大型映像装置の設置に向けた予算が出ているが、どのような目的で設置するのか。

都市づくり部長 Jリーグの新たな施設基準で、18年6月までに整備されていることが義務化されており、この点においても設置は必要です。

問 昨年12月議会において「学校教育予算の充実について」の決議が可決されたが、今回の当初予算にどのよう反映されているのか。

学校教育部長 学校運営に支障がないよう、備品購入費、消耗品費など学校再配当予算の執行状況の検証を行い、必要な額を予算計上しています。

市長 熱回収施設等が地域と共生し、市民にとって魅力的な施設であり続けるよう、事業コンセプトを定めることとしております。

公明党
おく栄一

問 市長は「地方創生を実現するためには、自治体固有の財政基盤が必要だ」と強く訴えています。この自治体固有の財政基盤とはなにか。

市長 地域間の偏在性の大きい法人住民税を国税化し、自治体間の格差が小さい地方消費税の拡充を行う必要があります。地方交付税や臨時財政対策債などに依存しない自立的な財政運営が可能になる制度と考えております。

問 市長が述べている「町田市が将来にわたって成長し続けるための課題と対応策」4点①未だ待機児童の子どもの数が多いこと②4年生以上の児童が学童保育クラブに入会できないこと③多彩な子育てメニュー④小児救急について伺う。

市長 認可保育所や認定こども園などを整備し、19年4月までは待機児童が解消される予定です。学童保育クラブは、児童数の推移を見ながら、適切な時期に検討を開始します。多彩な子育てメニューは、新たな展開として、赤ちゃん・ふらっと事業と送迎保育ステーション事業などがあります。小児救急については、関係団体の協力をいただき、よりよい医療体制の整備に取り組んでいきます。

問 新たな資源循環型施設整備について、具体的には、どのような取り組みをしているのか。

市長 熱回収施設等が地域と共生し、市民にとって魅力的な施設であり続けるよう、事業コンセプトを定めることとしております。

市長 熱回収施設等が地域と共生し、市民にとって魅力的な施設であり続けるよう、事業コンセプトを定めることとしております。

日本共産党
細野龍子

問 市税収入の減少や扶助費の増加の要因となっている市民の生活実態について、市長の認識を伺う。

市長 家族形態は変化し、平均寿命が延び、高齢者を初めとした単身世帯が増加しています。社会保障給付費の急増と市税収入の減少を要因とした構造的収支不足に直面しております。何ができるのか、何をすべきか、施策も厳しい選択を求められる時代になったと認識しております。

問 「住民の福祉の増進」が地方自治体の役割。大型開発を推進する一方で、福祉や市民活動、営業を支える補助金は廃止、削減する事業数及び影響はどうか。

財務部長 国庫補助基準、もしくは都府県補助基準を超過して市が一般財源で負担している補助金、交付金及び扶助費の58件を見直しました。事業ベースで約1億7000万円となつております。

問 重要な高齢者施策として守られてきた「長寿祝金支給条例」を廃止する目的及び影響をどのように考えるか。

いきいき生活部長 予算規模に応じて弾力的に運用できるように、要綱にて実施するものです。祝金は生活給付ではないため、生活への直接的な影響はないと考えています。

問 中小企業支援の柱である「中小企業融資条例」を廃止する目的及びその影響は。

経済観光部長 予算規模に応じて弾力的に実施できるよう、要綱にて実施するものです。信用保証料補助は、16年度から廃止となります。

市長 熱回収施設等が地域と共生し、市民にとって魅力的な施設であり続けるよう、事業コンセプトを定めることとしております。

保守連合
新井克尚

問 施政方針に「若い世代にとっての魅力づくり」とあるが、都内及び近隣の他区市と比べてどうか。

市長 町田市ほど多様な保育サービスを提供している地域はないと自負しております。

問 日経DUALによる「共働き、子育てしやすい街ランキング東京編」の結果をどう捉えているか。

市長 認可園に入れているか、病児保育に預けやすいか、学童保育は6年生まで整っているかといった項目でポイントを上げることができていないので、子育てしやすいまちをPRしていく際の視点として認識することができました。

問 平成26年4月に保育料が改定されたが、利用者の反応は。

子ども生活部長 例年問い合わせを受ける程度の質問のみでした。保護者の皆様のご理解をいただいた結果であると考えています。

問 請願にあった2倍というのはいくらがいくらになったのか。

子ども生活部長 Cの第3階層で2700円が5600円になったということです。

問 幼稚園と保育園の逆転現象についての声はあるか。

子ども生活部長 特に認定こども園では不公平感が顕著にあらわれているようです。

請願の処理経過及び結果報告

平成27年第4回定例会において採択された請願について、市長から処理経過及び結果について、次のとおり報告がありました。

認可外教育・保育施設に子どもを通わせている保護者、自宅で子育てをしている保護者への支援を求める請願

自宅で子育てをしている保護者に対する支援としては、直接の財政的支援ではなく、身近な地域での交流や相談・情報提供の場である「マイ保育園事業」や、地域子育て相談センターのアウトリーチ出張子育て相談、生涯学習センターの「幼児を持つ保護者のための講座」など、多様な事業を展開しており、今後も事業の充実を図ってまいります。

また、教育の多様化という観点から新たな支援の枠組みとして、町田市が認定した認可外幼児教育施設に子どもを通わせている保護者に補助を実施することとし、予算案を作成しております。

※無認可幼児教育施設園児保護者補助金として、16年度当初予算に計上されています。

平成27年度 常任委員会の活動状況

町田市議会では、常任委員会の活動として、市内の各種団体の皆さんと懇談会を開催し、市民と議会の意見を交換する場としています。懇談会

で出された意見については、議会活動に反映させていただきます。

平成27年度(2015年度)に開催した懇談会は次のとおりです。

【健康福祉常任委員会】
○町田市社会福祉法人施設等連絡会

【内容】
グループホームの計画的整備について他
○町田市障がい者福祉懇談会

【内容】
各福祉団体からの報告について
(10月2日開催)

【文教社会常任委員会】
○町田市法人立保育園協会
【内容】
認可保育園について
町田の保育の現状と今後の課題について
(10月1日開催)

○特定非営利活動法人東京養育家庭の会 みどり支部町田
【内容】
養育家庭について
(10月1日開催)

※懇談の希望がありましたら、議会事務局議事係(☎042-724-2550)にご相談ください。

【現地視察】
リレーセンターみなみ
16年4月からJR横浜線以南の地域で容器包装プラスチックの分別収集が始まり、リレーセンターみなみの資源化設備が本格的に稼働しました。
先日4月11日には、市議会議員が稼働中の施設を見学し、容器包装プラスチックの資源化の取り組みの現状を確認してまいりました。

議会事務局へおいでください。

議会の仕事を任せてほしい。

(http://www.gikai-machida.jp/)